

手をつなぐ親たち

第52号
2020年
11月26日



題字／星川知明 さん(かねやまハウス)
絵／伊藤晃基 さん(ワークランドベにば)

●編集・発行 一般社団法人 山形県手をつなぐ育成会 ●責任者 阿部高之
●〒990-0021 山形市小白川町2-3-31 山形県総合社会福祉センター内
●TEL 023-623-6572 ●FAX 023-623-6571 ●E-mail y-ikuseikai@coda.ocn.ne.jp

理事長挨拶



山形県手をつなぐ育成会
理事長 阿部 高之

手をつなぐ輪をもっと大きく

会員の皆様には、日頃から山形県手をつなぐ育成会の運営につきましてご支援ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、今、私たちは、年初には思いもよらなかった新型コロナウイルス感染症による世界的な規模の健康危機や経済危機に見舞われております。この感染症の蔓延を防止するため、そして、とりわけ感染症に弱い立場の知的しょうがい者を守るため対策に努めてまいりました。

そのような中、新型コロナウイルスは、総会や理事会の開催にも影響を及ぼし、県知的しょうがい者福祉大会、レクリエーション大会等の諸事業を中止せざるを得なかったことは大変残念なことでした。

一方、育成会は、会員が徐々に減少し育成会組織の活力が失われつつあるという大きな課題を抱えています。会員が高齢化する中、新しい若い世代の加入が少なく、組織の縮小につながっております。他にも、今、育成会が一丸となってやるべき課題は山積しており、その一つに親と本人の高齢化に伴う「親亡き後」の問題があります。将来とも安心して生活が送られるように「親あるうち」に支援する手立てを早急に構築しなければなりません。また、虐待や差別・偏見も依然として根強いものがあります。知的しょうがい者に対する理解を、地域に県全体に限らず広げていくことが大切であり、活動を強めていく必要があります。

このため、育成会では、昨年末に創立60周年を迎えたのを機に、初心に帰って当会の設立目的を再確認するとともに、今後の果たすべき役割を明確にするために、組織改革、政策・権利擁護、研修、広報の4つの委員会を立ち上げました。委員会は、理事を中心に会員の皆さんの協力を得ながら調査・検討し、2年後を目途に取りまとめでいきたいと思っています。

支部活動報告

特別支援学校と山形市育成会との関わり

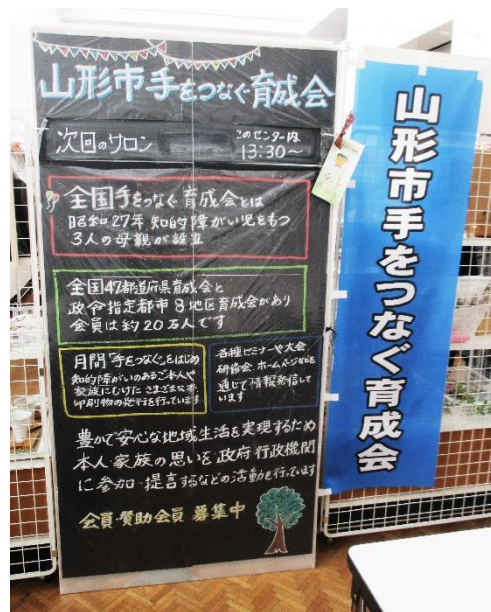
山形市手をつなぐ育成会

会長 伊豆田 公蔵

平成5年頃、特殊学級のPTA組織「特殊学級親の会」と「山形市手をつなぐ親の会」が話し合いを持って、多くの方々から「山形市手をつなぐ親の会」に入会していただいたと聞いています。が、その後は続かなかったようです。

特別支援学校を卒業し、育成会に入会してくれた会員の方々から、育成会の活動の趣旨をこれからの人たちに理解してもらうために、育成会をPRしていかなばという提案があり、育成会のメッセージボードを作っていただきました。そして、昨年7月28日、「村山特別支援学校祭り」に会員4人で参加し、既刊の広報紙「手をつなぐ」等の資料を配ったり、声掛けしたり、アンケートに答えていただいたお礼に景品を渡したりしてきました。効果のほどは？

育成会の存在をご存じない方もいらっしゃる中で、機会を見つけてPR活動を続けていかなばと思ったところです。育成会の「のぼり旗」を作り、学校側と連絡を取り、日程の調整等をしていた矢先に今回のコロナ騒動が起きて動きがとれない状況です。騒動が終ったら、地道に活動をしていきたいと思っています。若い保護者の方々の中に、育成会の必要性を感じていない方が多くなっています。特別支援学校PTA等と育成会との懇談の場が必要です。どうでしょうか？



特別支援学校との関わり

村山市手をつなぐ育成会

会長 藤田 浩司

令和元年12月17日(火)多機能型事業所「わっしょい」2階会議室に於いて、山形県立楯岡特別支援学校校長 伊藤順子氏を講師にお招きし、「特別支援学校の教育活動と地域社会とのつながりについて」の演題でご講演をいただきました。

教育活動については、通常カリキュラム説明の他 地元の「徳内祭り」への参加、生徒の作品展示や村山市で毎年11月に行われる「村山教育フェスティバル」への学校紹介展示などについてご説明いただきました。

地域とのつながりについては、事前の打ち合わせのときに「地域や育成会に求めることについてお話しいただきたい」とお願いしていた事もあり、保護者や教職員の皆様が何を求めているか、何に不安や心配事があるのかを知り、育成会としての関わりを深めていけるヒントを見つけることができたように思います。

学校関係者の皆様にとって一番の関心事は進路です。学校には卒業があり、同時にPTAも終了しますので、学校との関わりが途切れます。私たち育成会会員には、学齢期を過ぎ多様な進路に進んだ人たちが大勢います。学校や保護者の求めに応じていける育成会を目指す事も会員拡大につながると感じた講演会でした。

2019年度 決算書

2020年度 予算書

(収入の部) (単位：円)	
科目・収入額	主な内容
会費 1,948,000	正会員会費（2000×774名・団体38万円） 賛助会員会費（3施設2口）
事業 253,800	福祉大会参加費（600×171名） 知レク大会参加費（300×504名）
委託料 2,748,420	知レク大会（障害者スポーツ協会より） 相談員研修会（身体障害者福祉協会より） 全育連機関紙「手をつなぐ」配布業務 文書保管（6施設より）
補助金等 748,000	ぜんち共済 生活サポート協会 ジェイアイシー 福祉大会への補助（1市4町より） 福祉大会協賛広告費
雑収入 134,304	受取利息 雑収入（書籍販売等）
収入合計	5,832,524

(収入の部) (単位：円)	
科目・収入額	主な内容
会費 1,948,000	正会員会費（2000×774名・団体38万円） 賛助会員会費（3施設2口）
事業 150,000	知レク大会参加費
委託料 3,035,300	知レク大会（障害者スポーツ協会より） 相談員研修会（身体障害者福祉協会より） 赤い羽根共同募金配分金事業 全育連機関紙「手をつなぐ」配布業務 文書保管（6施設より）
補助金等 460,000	ぜんち共済 生活サポート協会 ジェイアイシー
雑収入 61,000	受取利息 雑収入（書籍販売等）
収入合計	5,654,300

(支出の部) (単位：円)	
科目・支出額	主な内容
管理費支出	事務費 4,432,767
	負担金 417,850
	助成金 20,000
	租税公課 72,600
	計 4,943,217
事業費支出	事業・研修費 1,173,444
	派遣費 99,720
	広報費 69,880
	雑費 8,749
	予備費 0
	計 1,351,793
支出合計	6,295,010

(支出の部) (単位：円)	
科目・支出額	主な内容
管理費支出	事務費 4,190,000
	負担金 300,000
	助成金 20,000
	租税公課 72,000
	計 4,582,000
事業費支出	事業・研修費 835,300
	派遣費 40,000
	広報費 180,000
	雑費 10,000
	予備費 7,000
	計 1,072,300
支出合計	5,654,300

知的障がい児者・自閉症児者の
生サポは 家族の安心を支えます

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー 南東北支店
〒980-8485 仙台市青葉区中央1-2-3
仙台マークワン18F
TEL: 0120-294-747(フリーダイヤル) FAX: 022-264-0081
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
仙台営業支店
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-8-3 富士火災仙台ビル3階
TEL: 022-726-7551
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

ご入会のお問合せはこちら
山形県知的障害児者生活サポート協会
〒990-0041 山形県山形市緑町1-9-30 緑町会館4階
山形県知的障害者福祉協会内
TEL: 023-664-0256 FAX: 023-623-9123

2019年11月現在の内容です。(D-004329 2021-03)

令和2年度 一般社団法人 山形県手をつなぐ育成会 役員紹介

- 理事長 阿部 高之 (西村山地区代表、寒河江市手をつなぐ育成会 会長)
- 副理事長 小山 憲樹 (庄内地区代表、酒田手をつなぐ育成会 会長)
- 理事 佐藤 洋美 (最上地区代表、金山町手をつなぐ育成会 副会長)
- 理事 藤田 浩司 (北村山地区代表、村山市手をつなぐ育成会 会長)
- 理事 高橋 郁子 (東南村山地区代表、中山町手をつなぐ育成会 会長)
- 理事 遠藤 正敏 (置賜地区代表、南陽市手をつなぐ育成会 会長)
- 理事 斎藤 万里 (団体会員代表、社会福祉法人 米沢栄光の里 松風園 園長)
- 理事 浅倉 次男 (学識経験者、元 山形県立保健医療大学 教授)
- 理事 色摩 誠 (社会福祉法人 山形県社会福祉事業団、山形県総合コロニー希望が丘 所長)
- 理事 岡崎 祐治 (山形県立村山特別支援学校 校長)
- 監事 佐藤 孝美 (山形市手をつなぐ育成会)
- 監事 広谷 明雄 (山形市手をつなぐ育成会)



～ 今後の予定 ～

- ◆ 知的障がい者相談員研修会 (オンライン開催を計画中)
- ◆ 支部会長・事務担当者合同研修会
- ◆ ホームページ開設 (12月下旬)

広報紙「手をつなぐ親たち」の表紙絵・題字 募集!

表紙絵・題字を
募集しております!
お問い合わせは
県事務局まで。



編集後記

今年の初めは、今日のような生活になることを誰が予想していたでしょうか?

コロナの影響で、総会等の会合や今まで出来ていたことも制限され、新しい生活様式に戸惑いを感じた方も多数いらっしゃるのではないのでしょうか?

コロナ禍で何もかも手探りの中、理事を中心に4つの委員会が発足しました。

これからの育成会に必要なものは何か? 会員減少を食い止めるためにはどのような対策をとれば良いか? 会員の皆さんの声を1つ1つ形にしていきたいと思っています。

地域との繋がりを大切に、楽しく活動できる育成会を、会員の皆さんと作っていきましょう。

コロナに負けないぞ!

〔広報委員〕 佐藤 洋美・藤田 浩司・高橋 郁子

知的障がい・
発達障がい、
ダウン症、
てんかんのある方、
ご家族に

病气やケガが絶えない...
成人病や生活習慣病に備えたい...
他人の物を壊してしまった...
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある...

このようなお困り事に心当たりがある方に...

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

● ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
【2020年1月作成 19-TC06633】

0120-322-150

平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの
あんしん保険

・最高日額1万円
・個人賠償責任補償
・弁護士費用補償
・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの
こども傷害保険

・入院・通院を日額保障
・個人賠償責任補償
・トラブルに巻き込まれた際、
・弁護士がサポート

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

株式会社エフシーバンク TEL: 022-348-4480